

[調査会 NEWS 353] (18.4.5)

中央メーデーに参加

調査会では昨年に引き続き連合主催の中央メーデーに参加します。この1年間、すべての組合でとはいかないまでも、労働組合の拉致問題への取組みもかなり進んできました。今回はその中でも特に積極的に運動を展開している UI ゼンセン同盟と共同で飲食物を販売し、傘下組合の協力でイベントも行います。メーデーにご参加の方、お近くの方はぜひお立寄り下さい。

日時 4月28日(金) 10:00 ~ 14:30

場所 連合主催中央メーデー会場(代々木公園)ゾーン2 山手線原宿駅下車

内容 しかぜグッズ、やきそば・ビールの販売、写真の展示等

[調査会 NEWS 354] (18.4.6)

しおかぜ改編について

しおかぜの改編につきましては 4 月 10 日からとお知らせしていましたが、準備の関係で 1 週間延期し、17 日からの変更とすることになりました。23:00 ~ 23:30 の 30 分間が月曜・朝鮮語、火曜、英語、水曜・日本語で、それぞれニュース及び解説を放送する予定です。

戦略情報研究所講演会

日時 4 月 21 日 (金) 18 : 30 ~ 20:30

講師：荒木 和博 (特定失踪者問題調査会代表・戦略情報研究所代表)

「自衛隊による拉致被害者救出のシミュレーションー議会・世論等周辺状況の整備を中心にー」

参加費 2000 円

会場：UIゼンセン会館 2 階会議室 (千代田区九段南 4-8-16 tel03-3288-3549)

市ヶ谷駅下車 3 分 日本棋院斜向い (地図は下記をご覧ください)。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

[調査会 NEWS 354] (18.4.6)

訂正

ニュース 352 号 (5 日付) で中央メーデーの日にちを 4 月 28 日 (金) と書きましたが 29 日 (土) の間違いでした。お詫びして訂正します。

[調査会 NEWS 355] (18.4.10)

昨今の動きについて

荒木和博

6カ国協議もどき(?)や韓国人拉致被害者とのDNA鑑定の照合の問題など、最近様々な動きが出ています。もし第3次小泉訪朝があるならばGWの前後に発表されるのでしようし、一方で北朝鮮では3月の張成沢(金正日の義弟)訪中など、中国の介入がさらに強まっていることが分かります。偽札問題を中心とした米国政府の北朝鮮への圧力、胡錦濤訪中など、変数が非常に多いため、なかなか予測は難しいというのが正直なところです。もちろん、おわればどうにでも言えますが。

はっきり言えることは、マスコミへのリークであれ何であれ、1人や1国の意向だけで動いているのではないということです。1世紀前もそうだったのですが、周辺大国の思惑や、それぞれの中での力関係が影響して、結果が出ていくため、台風の進路を予測するような感じではないかと思います。

一見一枚岩のように見える中国でも、胡錦濤の勢力と江沢民らの勢力の葛藤もあるでしょうし、おそらくはそれらがさらに複雑に分れ、絡み合っているのだと思います。米国もしかり、日本も首相官邸と外務省と警察と議会と...というように、様々な動きの結果として現実が動いているのだと思います。

ただ、状況は1世紀前と同じように、当事者である朝鮮半島の2つの政権、特に一番の主役であるはずの北朝鮮が当事者能力を失い、周辺の大国(ロシアは今余り関係ないので日米中の3国)のプレゼンスだけが大きくなっているのではないのでしょうか。青木直人さんの著書『北朝鮮処分』の中には、処分される北朝鮮の話がほとんど出てきませんが、まさにそういうことかなと思います。

今回日本にやってきた北朝鮮の代表団は、13日午後に朝霞にある陸上自衛隊の広報センターを見学するのだそうです。理由はよく分かりませんが、折角ですから、目の前で拉致被害者を救出する訓練か、特殊部隊を制圧する訓練でも見せてやったらいいと思います。防衛庁長官も、滑走路の方向をどうするかで頭を悩ませているより、気分転換を兼ねて気合いを入れたらいいのでは。いずれにしても、自己認識はともかく、日本の存在感が色々な意味で高まっていることは間違いありませんし、そうしていかなければならないと思います。

蛇足で一言。キム・ヘギョンさんの父親が韓国人拉致被害者である可能性は高いようです。もちろん、確率の問題ですから最後まで100%とは言えないですし、私たちは山本美保さんのことがありますからDNAと言われても「はい、そうですか」と信頼することはできないのですが、親しかったはずの蓮池薫さんたちは少なくとも、この結果を裏づける、あるいは否定する情報をもっているはずで、ここまで話が煮詰まっているのですから、一言マスコミに語ってくれてもいいような気がするのですが。

[調査会 NEWS 356] (18.4.11)

収録室完成、来週から「しおかぜ」の朝鮮語・英語放送を強化

調査会事務所に作ってありました収録室が昨晚完成しました。これは支援者の方がボランティアで作って下さったもので、電話ボックスを大きくしたような形の防音の完備した部屋になっています。

これまで事務所での収録は外を走る車のクラクションやサイレンで中断され、効率的に行えなかったのですが、今後は外部の環境に影響されず、必要なときに効率良く収録ができるようになりました。最終的な目標でもある北朝鮮でのクーデター等緊急時の拉致被害者に対する避難情報提供も、システム上生放送はできませんが、最大限時間を詰めて行えるようになりました。

すでにお知らせしておりますが、調査会では工事の完成にともない以下の通り朝鮮語及び英語の放送の強化を行います。

月曜（17日以降）の23：00～23：30が朝鮮語でのニュース、解説などで、拉致問題を中心に、北朝鮮内部の問題も含め、北朝鮮の幹部並びに一般国民向けに流します。担当は荒木が行います。

火曜（18日以降）の23：00～23：30は英語でのニュース、解説などで、これは英語圏並びに拉致問題が知られていない地域の英語を解する人々に、拉致問題についての理解を深めてもらうため発信を行うものです。担当は真鍋が行います。

また、水曜は外部の方に協力をいただいて中国語での名前の読み上げを行っていますが、中国語でのニュースは現時点では難しいため、水曜（19日以降）の23：00～23：30は日本語のニュース及び解説を放送します。これは拉致被害者のみならず日本国内及び海外の日本語を解する人にも向けたものです。

収録・編集は明日12日水曜から開始します。その他、詳しいことは戦略情報研究所ホームページの「しおかぜ通信」をごらん下さい。

<http://senryaku-jouhou.jp/shiotsuu.html>

[調査会 NEWS 357] (18.4.12)

## DNA鑑定

荒木和博

私たちにとっては「DNA鑑定」と言われるとつい山本美保さんのことを思い出してしまいます。さすがに今回は間違いないと思いますが、もし、北朝鮮側がこれを否定しようとするなら、山本美保さん本人を出してくるのが一番でしょう（山本美保さんについては下記の「山本美保さんの家族を支援する会」のHPをご参照下さい）。

<http://homepage3.nifty.com/KOFUHIGASHI-3/>

話は変わりますが、お恥ずかしい話ながら、蓮池薫さんが「キム・ Cholジュン は拉致された韓国人である」と言っていたというのを、今回のことで初めて知りました。これまでの彼の証言との齟齬とか、色々言いたいことはあるのですが、とにかく、蓮池さんには一刻も早く、韓国に行って金英男さんのお母さんに息子さんのことを話してもらいたいと思います。ほぼ同じ時期に拉致されたご自分のことを24年間待ち続けたお母さんのことを考えれば、28年間待っている金さんのお母さん、崔桂月さんを放っておくことはできないはずだと思うのですが。

### 戦略情報研究所講演会の時間変更

先日お知らせした戦略情報研究所主催講演会ですが、会場の都合（前の会議との関係）で、開始時間を1時間遅らせて19:30開始とすることになりました。会場に入れる時間は19:15位になりますので、ご注意ください。

日時 4月21日（金） 19:30～21:00

講師：荒木 和博（特定失踪者問題調査会代表・戦略情報研究所代表）

「自衛隊による拉致被害者救出のシミュレーションー議会・世論等周辺状況の整備を中心にー」

参加費 2000円

会場：UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い（地図は下記をご覧ください）。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

[調査会 NEWS 358] (18.4.12)

古川裁判で証人尋問決定

法律家の会幹事 川人博(調査会常務理事)

本日(4月12日)古川さんの訴訟の進行協議期日(非公開)が開かれましたが、そこで、6月28日(水)午前10時半～11時半 606号法廷で、荒木調査会代表の証人尋問を行うことが決定しました。

立証事項は、政府認定者とそれ以外の人々に対する政府の対応のちがい、古川さんの件につき荒木氏が安明進氏と面談したときの内容などが中心です。皆様の裁判支援のご活動のおかげで、証人尋問を実現することができました。6月28日には、多くの方々の傍聴を期待しています。

[調査会 NEWS 359] (18.4.19)

定例記者会見のお知らせ

報道関係者各位

4 月定例の記者会見を次の日程で行います。ご多忙中恐縮ですが、対応方よろしくお願  
いします。

日時 4 月 28 日 (金) 14:00 ~

場所 特定失踪者問題調査会事務所

内容 ゼロ番台リスト追加発表

真鍋専務理事訪米の報告

「しおかぜ」の状況について

他

ゼロ番台リスト発表については、従来同様同日 10 時半頃から、写真の撮影及び資料の  
配付を調査会事務所でいたします。ただし、報道は 14 時の記者会見開始後にして下さ  
いますよう、お願い申し上げます。

警察庁拉致対策室長の対策室設置にあたっての挨拶

少々時間が経ってしまいましたが、さる 4 月 3 日、警察庁外事課に拉致問題対策室が設  
置されました。初代の室長には吉岡健一郎警視正が就任し、発足の日には次の挨拶を行  
いました。既に報道はされていますがご参考まで全文をお知らせしておきます。

平成 18 年 4 月 3 日

拉致問題対策会議

#### 拉致問題対策室長指示

このたび、拉致問題対策室長に着任しました吉岡でございます。拉致問題対策室設置に  
あたり、初心の一端を申し述べます。

警察は、これまでに 11 件 16 名を北朝鮮による日本人拉致容疑事案と判断するとともに、  
これら以外にも拉致の可能性を排除できない事案があるとみて、所要の捜査・調査を進め  
ているところですが、平成 14 年 9 月の日朝首脳会談以降、拉致問題に対する国民の関心  
が高まり、「北朝鮮に拉致されたのではないか」とする届出等が多数寄せられているほか、  
ご家族から告発を受け捜査している事件等もあります。

こうした事案の全容解明のための捜査等は困難を極めており、各都道府県警察に対し、  
専断的に指導を行うとともに、かかる事案について、内閣官房、外務省その他国内外の関  
係機関あるいは民間団体との調整を行うことを目的に、このたび、外事課に「拉致問題対

策室」が設置されました。

去る1月5日、漆間警察庁長官は、拉致問題に対する国民の関心が高まる中、年頭の記者会見において「勝負に出なければならない」との強い決意を示しました。

さらに翌6日には、拉致の実行犯の特定に資する新たな証拠を入手したことなどを踏まえ、これまでの関連事案の洗い直しを図るため、昭和53年7月に発生した福井県及び新潟県におけるアベック拉致容疑事案について、福井県警、新潟県警察及び警視庁に対して、協同して捜査を行うよう指示がなされましたが、これは福井・新潟両県の事案が我が国の重大な利益に関する犯罪であるとの認識の下、これに対する強い決意を明らかにしたものに他ならないのです。

この指示を受けて、福井県警察及び新潟県警察は、それぞれ警視庁と協同して所要の捜査を行った結果、本年2月、地村夫妻の拉致所実行犯として辛光洙を、蓮池夫妻の拉致の実行犯として通称チェ・スン Chol を特定し、それぞれ逮捕状の発布を得て、国際手配を行っているところです。

また、3月23日には、警視庁公安部が、昭和55年6月頃に発生した北朝鮮工作員・辛光洙らによる原敕晁さん拉致容疑事案に関し、国外移送目的拐取等の容疑で捜索差押許可状の発布を受け、国内関係先6箇所の捜索を行い、辛光洙を始めとする被疑者の立件を視野に捜査を進めているところであります。

このように、拉致容疑事案の捜査は着実に前進しているといえます。しかしながら、未だ11名の拉致被害者の方々の安否が不明であるほか、拉致の可能性が否定できないとしてなされた届出・相談は900件以上に上り、これらの事案についての捜査・調査を始め、拉致容疑事案の全容解明のために解決すべき課題は数多く残されております。

こうした中、平成17年12月に開催された「拉致問題対策に関する専門幹事会」において、今後の対処方針として、新たに「特定失踪者」等に関する捜査・調査等を引き続き推進し、そのため所要の体制を整備する」ことが追加され、警察庁における体制の強化とともに、第一線で拉致容疑事案の捜査等に当たる各都道府県警察の体制の拡充が求められました。また、「北朝鮮による拉致被害者家族会」や「北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟」等からも、本年1月に、警察庁に対して拉致事件の捜査の徹底等に係わる要望が提出されているほか、国会でも捜査体制の強化を求める趣旨の発言がなされるなど、拉致容疑事案等の捜査・調査の体制強化を求める国民の声は高まっております。

一方、本年2月に行われた日朝包括並行協議では、北朝鮮は「拉致問題は解決済み」との従来の主張に固執し、拉致問題に関する新たな情報を提供することはありませんでした。また、多くの事案は発生から既に相当の年月が経過しており、関係者、関係資料の確保が

困難になるなど、厳しい状況下での捜査等を余儀なくされています。こうした厳しい状況の打開を図るべく、この度、警察庁警備局外事情報部外事課に「拉致問題対策室」が設置されたわけであります。

そこで、この際、特にご留意いただきたい2点について申し述べます。

第1に、拉致容疑事案は、我が国主権を侵害する極めて重要な犯罪であります。したがって、捜査の節目節目において、関係都道府県警察と緊密に連携を図っていただき、警察庁として責任をもって適切な捜査の指導や調整に努めてまいりたいと考えております。

第2に、拉致容疑事案は、発生から既に長期間の歳月が経過しており、その間、被害者はもとより、ご家族のかたがたの心情は察するに余りあるものがあります。こうした方々の心情に十分に配慮し、捜査や調査の更なる進捗を図り、着実に遂行していく必要があります。

また捜査に当たっては、ご家族や関係者に捜査の経緯を連絡し、捜査機関としての説明責任を果たすなど、これらの方々の心情に十分に配慮することが肝要であり、都道府県警察との連携を密にし、適切な指導に努めて参りたいと考えております。

各位におかれましては、国民の期待にこたえるべく、北朝鮮による日本人拉致容疑事案の全容解明のため、全力を尽くしていかれるよう、よろしく申し上げます。

-----  
この内容を初め、政府関係者の公式見解などは「しおかぜ」でも北朝鮮向けに流し、日本の取組みが強まっていることを知らせていく予定です。ちなみに、今週から 23:00 ~ 23:30 の30分間、月曜朝鮮語、火曜英語、水曜日本語でニュースと解説を流していますが、17日の朝鮮語の時間では、3月8日の参議院予算委員会の質疑について放送しました。

UIゼンセン同盟合唱クラブの「ふるさと」が流れます

前述のように、今週から「しおかぜ」の番組が再編されていますが、本日(19日水曜)23:00 ~ 23:30の日本語でのニュース・解説「日本海にける橋」は代表荒木がこれまでの拉致問題の進展の経緯についてお話しします。さらに、番組の途中で労働組合、UIゼンセン同盟のOB・現役の方で作る合唱クラブの皆さんによる「ふるさと」を流します。

放送内容等については下記の戦略情報研究所ホームページ「しおかぜだより」をごらん下さい。

<http://senryaku-jouhou.jp/shiotsuu.html>

[調査会 NEWS 360] (18.4.21)

「しおかぜ」に安明進氏登場

今週からスタートした朝鮮語でのニュース・解説の番組「シオカゼソシク」、来週月曜（21日 23:00～23:30）にはゲストで元工作員・安明進氏が出演します。

安氏は「シオカゼソシク」の中の、一刻も早く北朝鮮を民主化し、拉致被害者全員を救出するため、北朝鮮の人々向けに訴える「速度戦」コーナーで約10分、北朝鮮の人々に体制の問題点などについて語りかける予定です。

また、この日はあわせて政府が作成した拉致問題のポスターや、15日の「北朝鮮帰国者の声明と人権を守る会」で採択された決議について解説します。この決議は山田文明同会代表らに対して北朝鮮が身柄引渡しを求めたことを厳しく非難するものです。

[調査会 NEWS 361](18.4.24)

訂正

前号で、「しおかぜ」朝鮮語でのニュース・解説の番組「シオカゼソシク」への安明進氏の出演を 21 日と書きましたが本日 24 日の誤りです。お詫びして訂正します。「シオカゼソシク」は毎週月曜（21 日 23:00 ~ 23:30）に放送されます。

西村眞悟議員裁判

荒木和博

本日大阪地裁で西村眞悟衆議院議員の弁護士法違反に関する裁判の第 2 回法廷がありました。今日は西村議員夫人と私が弁護側証人として立ちました。夫人は、喉が悪く、話すのも辛そうでしたが、一所懸命陳述しておられました。

私は西村議員と自分のこれまでの関係、横田めぐみさんの事件が明らかになったときからの西村議員の拉致問題への関わりについて述べました。まもなく 50 歳という人生で初めての証人役でしたので緊張しましたが、少しでも裁判にプラスになってくれればと願うのみです。

あらためて考えると、平成 9 年 2 月 3 日の衆議院予算委員会での西村議員の質問は拉致問題の進展にとって極めて重大なターニングポイントでした。当時無関心どころか逆風の状態で西村議員を初めとする本当に極く一部の議員が拉致問題に取り組んでくれたことが今日の状況を作ってくれています。今の状況では近いうちに拉致問題が大きく動くと思いますが、そのときはおそらくチャンスとピンチが同時にやってくると思います。土壇場で必要なのは文字通り「命知らず」で身体を張ってくれる人です。西村議員には今回のことをプラスに転じてさらに果敢に闘っていただきたいと思います。

ところで、平成 9 年の 1 月初め、横田めぐみさんという名前が分かってから国会の西村事務所に佐々木元秘書宛で送った F A X がありました。1 月中旬だったか、事務所に相談に行く前にとりあえずの報告として送ったもので、忘れていたのですが今回の一件が起きる前に佐々木さんに見せてもらって思い出しました。後でコピーさせてもらおうと思っていたのですが、おそらくその書類は大阪地検の倉庫にあると思います。

その F A X には「今明らかになっていることより、はるかに多くの拉致があるらしい」といった内容のことが書かれていました。自分で送った F A X ながら、どういう根拠でそう書いたのか記憶にありません。ただ、後から考えると現在の自分を示唆しているようで不思議な気持ちにとらわれています。

最後に蛇足で不謹慎と言われるかもしれませんが、自分の出番が終わり、代議士夫人が尋問を受けているとき、ふと、「拉致問題というのは法廷には馴染まない事件だな」と感じました。今日、丁度原敕晁さん拉致実行犯への逮捕状が請求されたニュースが流

れていましたが、辛光洙らを仮に逮捕しても原さんが帰ってくるわけではない。もちろん、警察には日本国内の拉致事件についてさらにしっかりと捜査してもらいたいと思いますし、そう決意しているからこそ対策室を設置したのだと思いますが、いくらそれをしたところで拉致被害者が帰ってくるわけではないのです。「取り返す」という作業は全く別のやりかたで実現しなければならないと、傍聴席で感じた次第です。

[調査会 NEWS 362] (18.4.26)

## 訪米報告

真鍋貞樹

4月22日、ホワイトハウス前のラファイエット公園で行われた拉致問題解決向けのコンサートとラリーについては、日本での報道のように無事終了した。参加者は、日本からの参加者11名に加えて、韓国人、在米日本人など合わせて100名程度だった。

日本からの参加者は、家族会からは市川雄一さん、増元照明さん。特定失踪者ご家族としては、大澤孝司さんの兄昭一さんご夫婦、山本美保さんの妹の森本美砂さん。特定失踪者問題調査会からは私真鍋。また、武蔵村山市議会議員の、天目石要一郎さん、須藤博さん、支援者3人も参加した。

内容としては、概ね次のようなものである。

本イベントの主催団体である ReACH は、特定失踪者の大澤孝司さんのいところ（在米）を中心として在米日本人によって結成されたものである。

今回、大澤孝司さんをはじめとして、山本美保さん、古川了子さん、生島孝子さんら特定失踪者への手紙の朗読が最初にあった。

韓国からはチェ・ソンヨン拉北者家族会会長を中心に、脱北してきた韓国拉致被害者も参加し、訴えがあった。そして、タイのアノーチェさんの家族からの手紙の代読があった。

手紙の朗読と、失踪者全員の名前の朗読に続いて行われたコンサートは、在米の日本人女性歌手のアミーカさんを中心に行われ、さらに脱北者した女性歌手も加わって催された。

コンサート終了後、参加者全員でホワイトハウス前を行進し、拉致被害者の救出をアピールして全日程が終了した。

## 特記事項

古川了子さんの拉致認定を求める訴訟において、政府側は終始「拉致被害者家族と特定失踪者家族は差別的な扱いをしていない」という表明を繰り返している。しかし、今回の訪米においても「差別的取扱い」が顕著に現れた。それは、家族会のメンバーには、内閣府拉致問題連絡調整室の室長ならびに室員が同行し、全ての日程の調整を行っている。例えば、在米日本大使との懇談、下院公聴会への同席などについては、家族会のメンバーは全て政府の調整によって参加することになっている。しかし、訪米した特定失踪者のご家族には政府からなんらの連絡も調整も行われていないことが判明したのである。しかも、今回訪米した特定失踪者のご家族は、外務省が北朝鮮に対してリストを渡した大澤孝司さんと山本美保さんのご家族である。

今回の22日のイベントの主催団体代表は、特定失踪者のご家族であり、そのイベントに家族会のメンバーが参加したものである。こうした特定失踪者のご家族の努力に対して、政府側はなんらの考慮も払っていなかったわけである。

これまで、特定失踪者問題調査会からは政府に対してこうした「差別的取扱い」を改めていくように、再三にわたり裁判や要請活動において求めてきたものである。特に今回、在米日本大使に対して特定失踪者の問題を訴える場も用意されなかったという事態は、政府が特定失踪者家族を「差別的取扱い」をしているなによりも証左となる。

この点について、6月28日に予定されている、次回古川了子さん拉致認定訴訟における証人として荒木和博特定失踪者問題調査会代表が指摘をしていく予定である。

#### 戦略情報研究所講演会

5月12日(金) 18:30 ~ 20:30

講師：青木直人氏(ジャーナリスト)

テーマ「北朝鮮処分にどう備えるのか---全拉致被害者奪還のために--」

北朝鮮に介入を強める中国、胡錦涛訪米後、朝鮮半島抜きでさらに加速する「北朝鮮処分」、拉致被害者救出のため日本は対中及び対・中米関係でどう行動すべきか

参加費 2000 円(お送りした講演会参加券がご利用になれます。参加券がない場合は一般参加費を頂戴します)

予約等はありません。直接会場においで下さい。

会場：UIゼンセン会館2階会議室

(千代田区九段南 4-8-16 tel03-3288-3549)

市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い(地図は下記をご覧ください)。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

[調査会 NEWS 363] (18.4.27)

明日の記者会見について

報道関係者各位

既にお知らせしておりますが、明日 28 日の記者会見は次のように行います。

時間 14:00 ~

場所 調査会事務所(3F)

内容 ゼロ番台 24 次リスト発表 (1 名、主たる関連地域 愛媛)

「しおかぜ」プロジェクトの現状と今後 (番組の改編と情報収集) について

北朝鮮人権法への対応について

メーデーの参加について

他

ゼロ番台リスト発表については、従来同様当日午前 10 時半頃から、写真の撮影及び資料の配付を調査会事務所でいたします。ただし、報道は 14 時の記者会見開始後にさせていただきますよう、お願い申し上げます。

既に一部報道されてはいますが、今月初めに「しおかぜ」収録のための新しいスタジオが完成していますので、当日も公開します。なお、間に合えば「しおかぜ」の広報用のビラをお配りします。これは街頭活動に利用したいとお申し出があり、作成したものです。

訪米報告については、前号ニュースでお知らせしてあるのと、真鍋が別件所用で会見に参加できないため、省略します。ご質問があればお受けします。

[調査会 NEWS 363](18.4.27)

第 24 次 0 番台リスト

本日の記者会見で以下のお 1 人について発表しました。

山下 綾子 (やました あやこ) 失踪当時は明瀬 (あかせ) 綾子

生年月日 ・昭和 17 (1942) 年 9 月 20 日

失踪年月日 ・昭和 46 (1971) 年 4 月 (当時 28 歳)

当時の身分 ・看護師

当時の居住地 ・愛媛県今治市

失踪場所 ・愛媛県今治市

失踪当時の状況 ・ 4 月のある日、自宅から出たまま行方不明となった。翌日、国鉄今治駅 (当時) に自転車が置いたままになっているのが発見される。自宅から勤務先の病院には自転車で通勤しており、鉄道は使っていなかった。またその病院も失踪一週間前に自らやめていたことがあとからわかった。自転車の前カゴに桜の小枝が一本入っていた。普段着のままの外出で、家には預金通帳・印鑑などがそのまま残っていた。

明日中央メーデー参加

調査会では明日、東京代々木の中央メーデー (連合主催) 会場に出店 (?) します。写真の展示や「しおかぜ」グッズ、ビール・ヤキソバの販売などを行います。今回は労働組合・UIゼンセン同盟との共同企画で、同労組の傘下組合の協力により「しおかぜ」グッズお買上げの方にはDVDミニオーディオやDVDプレーヤーを初めとする豪華景品の当たる籤引も行いますので奮ってご参加下さい。最寄り駅はJR山手線原宿、地下鉄千代田線明治神宮前です。

[調査会 NEWS 365](18.4.30)

訂正

前号ニュースで本文の冒頭のところが[調査会 NEWS 363](18.4.27)となっていました  
が、[調査会 NEWS 364(18.4.28)の誤りです。お詫びして訂正します。

メーデーご協力の御礼

昨日の中央メーデーは午後から雨という天気予報が見事にあたり、片づけている途中で  
雨になりましたが、営業中はなんとか天候も持ち、お陰様で調査会のブースではグッズ  
71,000 円売上げ、カンパ 2,884 円の収入がありました。

今回の企画はコラボレーション（共同企画）として行っていただいた労働組合・UIゼ  
ンセン同盟ヤングリーブスの皆さんの全面的な協力で実現しました。また、特定失踪者  
ご家族では生島馨子さん（生島孝子さんのお姉さん）及び高野美幸さん（高野清文さん  
の妹さん）が参加、さらに多数のボランティアの皆さんに協力していただいた他、国会議員、  
地方議員、労働組合役員も多数おいでいただきました。最後が雨の中のドタバタの片付と  
なってしまう、十分にごあいさつができませんでしたが、この場をお借りして御礼申しあ  
げます。

来年は少なくとも「特定失踪者問題調査会」としてはメーデーに出店しなくて済むよう  
（そもそもこんな団体がこの世に存在しなくなっているように）頑張ります。今後とも  
各位のご協力をよろしくお願いします。